

生涯学習概論レポート 1 回答

1. 日本語の文章

文章は空白行は削除したが原文のまま。書き出しや改行後の 1 文字下げのルールを守り、不要な改行はしないこと。要は読みやすい文章をつくること。

2. タイトル

回答の内容が（ひとつに）想像できる、回答の情報が得られること。課題をそのまま記[しる／き]した場合、回答の情報が得られない。よって「思い出に残った授業」「小中学校の授業」など内容が見えないので不適切。中身が想像できないタイトルの文章は読む気が起きない（教員は仕事だから読むけど）。

3. コンピュータ文書の作法

機種依存文字は原則使わない。文字化けする（ことがある）。例）Winで①②③がMacでは(日)(月)(火)に。文字コードがUnicodeなら大丈夫だが、Shif-JISは化ける。

ワードのインデントでの字下げは他のアプリにコピペしたら無効になる。

（カッコ）は和文中ならば全角にする。カッコ内が英数字であっても。

ネット公開してもよいですか？ 問題ある人は授業後個別に教えて下さい。

○内容が見えるタイトル

豚の目の解剖

私の思い出に残る授業は豚の目の解剖だ。それは、中学校2年時の理科実験で行われた。実験の目的は動物にとって重要な感覚器官である眼の構造を理解することだった。

解剖は初めてだったので、最初は気持ち悪くなってしまった。眼を真っ二つに切ってガラス体を取り出すのも、最初の頃はなかなか出来なかった。だが、ガラス体が透明でとてもきれいな丸をしていることに驚き、感動したことを今でも覚えている。最後に、先生が「この豚は食用で殺されました。」と言っていた。毎日当たり前のように食べている肉や魚、野菜は有り難く頂いているものだとの再認識するきっかけとなった。また、感謝の気持ちも持つことができた。

この実験を行うことで、実験の目的を理解することもできたが、命の大切さについても理解することが出来た。今回の講義課題でまた思い出すことができたので、これからも意識して感謝の気持ちを持ちながら生活していこうと思う。

身近なSDGsを探してみよう

高校一年生の総合的な学習の時間という授業で行った。

まず、SDGsについての説明を受ける。その後、グループに分かれて学校内のSDGsに関係のあるものをピックアップし、それがどのように関係しているのかをまとめるという内容。校内を散策するフィールドワーク的な側面と、グループで話し合いながらピックアップするものを考えることによって、SDGsの概要を学ばせつつ、コミュニケーション能力を養わせることが目的の授業だった。

ダンスの授業

1 番思い出に残っている授業は、高校 1 年生の時のダンスの授業です。クラスを 2 つのグループに分け、それぞれで決めたダンスを学期末に披露するというものでした。7 クラスあったので、全部で 14 のグループ

で順位を競いました。私のクラスはダンス経験者が多く、苦手な人にも教えながら、難しい曲に挑戦しました。結果はワンツーフイニッシュ(私のグループは2位)でした。グループが団結し、クラスの中でもアドバイスしあったおかげだと思いました。

聖書の授業

私の思い出に残る授業は、高校二年の聖書の授業である。私の通っていた高校はキリスト教主義の学校であり、毎週礼拝があった。その中でも思い出に残るのは聖書であった。現在の日本で生活していると聖書やその内容キリスト教に触れるという機会は多くないと考える。私も高校に入学し学ぶまで知ることは無かった。聖書の文章からどのような事を言いたいのかをざっくりと学びそれにかんして自分はさらにそこからどのような事を感じたのかを自分なりの意見を考えるような授業であった。

近代史

私の記憶に残った授業は高校1年生の世界史の授業です。世界史の授業は戦争という暴力によって作られ、現在も核というカードでにらみ合いながら均衡を保っている世界の在り方を勉強し、互いに軍隊を持つという話し合いだけでは終わらない国と国との関係性を学べたことが僕の財産となっています。

次に私の記憶に残った授業は高校2年の生物の話でブタの臓器を人間に移植するという話をされたとき、実験は倫理を捨てると進歩するが社会的な非難は避けられない。倫理と実験を天秤にかけながら研究しなければならないと教えられたときです。

高校での地理のテスト

思い出深い授業は、高校3年時の地理の授業で「100ヶ国テスト」と呼ばれる試験があったことです。内容は全世界の白地図から、ランダムに100国が選択され、その国名を答えるというものでした。他のクラスメイトが書き込みを行い必死に覚えている中、私は似たようなクイズゲームをフリーソフトで探してダウンロードし、比較的楽に覚えることが出来ました。勉強とは、要領よくやるものだと思い付きを与えてくれた授業でした。

過去1番印象的な授業

高校2、3年の魚類養殖実習が一番印象に残っている。

その実習では、主にトラフグ・ヒラメ・ホンモロコを養殖していた。トラフグは稚魚から飼育、他2種は完全養殖を行っていた。水槽掃除や給餌作業、水温管理等はもちろん、販売可能な大きさになったら料亭やホテル、デパートなどに出荷したり自分達で販売したりしていた。私たちが飼育していたトラフグの重量が歴代の2位で、質は先生や企業の方から1番良いと褒めて頂いた。

○少し見えるが具体性が欲しいタイトル

小学校での海洋教育

私の小学校は海水浴場が近くにあり、4年生～6年生までで、海洋教育という授業が行われていた。海洋教育とは夏休みの期間に、なぜこの海水浴場に來たのかを観光客に質問をしたり、近くの海の生態系などを調べるなどしてその結果をまとめ発表し、それをもとに海水浴場について議論するというものだった。

印象に残っている理科、化学の実験

小学校5年生の理科の実験で、電流について学んだあとそれらを利用したモーターカーを作りました。キットを使い作業しましたがとても楽しかったです。中学校2年生の理科の授業では実際にニワトリの心臓やイ

力を観察・解剖しました。イカを解剖する際、においで具合が悪くなった生徒がいました。当時の私は生物の体の仕組みに興味があったため授業を楽しみにしていましたがこれらを苦手感じていた生徒からすると、とても大変だったのではないかと思います。高校3年生の化学の実験ではサリチル酸メチルの合成を行う実験をしました。湿布の匂いの元とされているのがこのサリチル酸メチルです。実験室がこの湿布の匂いで充満したことをよく覚えています。実験の手順自体は難しいものではなく楽しみながら行いました。この実験を行った背景としては生徒自身が実験に対して親しみをもって行うことができるようにしたのではないかと思います。

小学校での音楽の授業

私の思い出に残っている授業は、小学校5年生時の音楽の授業だ。その授業では、一人ずつクラスメイトの前で歌い、音楽の先生が歌唱力などを評価するというものであった。当時の私は、重度のあがり症で、人前で行動することが非常に苦手であった。しかし、歌うことは好きであったため、意を決して全力で歌った。すると、クラスメイトからは絶賛され、音楽の先生からは合唱部へスカウトされた。結局、私は合唱部で入ることはなかったが、この一件で幼いながらも少し自分に自信がついた。そのため、この授業は今でも印象に残っている。

中学校の理科の実験

はじめての理科の実験は、水素を水上置換法で集め、最後にマッチの火を近づけて、ポツと音を出して燃えることを確認する予定だった。しかし、先生が配った気体は水素ではなく、酸素であり、マッチの火を近づけて途端大きな火が現れ、驚いた。その引火のせいで三角フラスコがおもっきり割れて粉々になったのが思い出です。

高校のプールの授業

小学生以来初めてのプールの授業で受講者が少ないため、準備運動などが適当に行われてた。こともあり、クロール中に足が攣って溺れかけたけれど、四種目のクロール、バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎができるようになりました。

高校における芸術鑑賞授業

私が通っていた中高一貫校では受験期の高校3年生を除いた5学年で毎年秋、様々な芸術の鑑賞・体験に行くという授業があった。多様な芸術の中でも落語や能、茶道といった日本的なもののみならず、演劇などの西洋的なものもあった。普段生活している中ではあまり触れることのなかった文化を味わえたのは素晴らしい機会だったように感じる。

教員の人間関係

高校3年の社会教科目の、定期テストを目前に控えた授業でのこと。授業内容は教え終わり、その日は自習がメインだった。他の科目も似たような状況で、ほとんどが自習兼先生への質問時間に充てられていた。挨拶を終えてしばらくすると社会の先生は教室を出て行き、別クラスで授業をしていた国語の先生が入ってきた。どちらの教室でも自習だったので、ふざけて入れ替わったのだ。授業時間の後半にはまた元に戻っていたが、先生どうしの仲の良さにとても温かい気持ちになった。

苦手な教師は誰もいるものだが、苦手になるかどうかは噂や周りの友人からの評価などの先入観が大きく影響していると考えている。好きな先生が仲良くしている先生に対してマイナスのイメージから入ることは少ない。先生に対しての苦手意識はそのまま教科に対しての苦手意識に繋がる。教員は職場での人間関係を

より良くする、もしくは不仲を悟られないことも大切だと思った。

○中身が見えないタイトル

思い出に残った授業(小学校～高校)

小学3年 体育

50m走の計測時希望制で2回目を測って良いといわれ自分以外が2回目を計測した時教師は無理強いをせずに計測の手伝いをさせ1人での時間なくなった。ここでただ1人全員の計測を待っていたらその後の学校生活に支障をきたしていたかもしれないので今では感謝している。

小学4年 音楽

私が暮らしていた地域には合奏祭がありリコーダーやピアノなどを使い周辺の小学校で競うと言ったものがあった。私は当時バイオリンを弾いており教師にもそれを言っていたので合奏祭でやってはどうかと勧められた。自分もやりたかったのでその誘いに乗った。今思うと教師はバイオリンについてよく理解していなかったが、真摯に向き合い練習に付き合ってくれたと思う。専用のパートも用意してくれそこで自主性の出し方を学べたと思う。

中学1年 英語

小学校にはなかった英語という初めて触れるものに対し文法や連語を噛み砕いてわかりやすく教えてもらった。授業のはじめに前回の授業の復習として前回学んだ文法を使用した英文を作るということをした。初めて触れる日本語以外の言語を接ししやすくしてくれたことが思い出に残っている。

高校2年 生物

教科書通りに学ぶことが多い高校だったが教師が单元ごとに実験の方がわかりやすい場合は実験してくれてとても分かり易かった。ちょうど自分の年に教師が変わったことがとても大きなことであったと思う。

高校3年 化学

それまで高校化学をよく理解できていなかったが、担当教師が行う小テストや授業中に発表させてくることにより復習する機会が強制的に作られ学ぶことができた。また教師が面白く理解させてくれるので楽しく勉強することができた。

高校3年 数学

数学は後期から数学1A2Bと数学3の選択になり私は1A2Bを選択した。1A2Bでは演習が基本となり教師が介入してくる方が少なかった。そのおかげで生徒同士で解説したり間違いを修正して理解を深めどうしても無理な場合は解説をしてもらった。生徒が主体で行う授業は面白く理解が深まるのでとても良いものだった。

記憶に残った授業

近代史の授業で日露戦争、日本海海戦について教師が熱心に語ってくれた授業(高校2年、日本史)

生物の進化の授業で、授業時間中に教員とともに国立科学博物館に行き、展示を見ながら解説を受けたこと(高校3年、生物)

良い思い出に残る授業

私が思い出に残った授業は二つある。一つ目は、中学三年の社会の授業である。教科書をあまり使わず、新聞などを使う授業であった。時事を取り扱うことが多く、興味を示すものが多かった。私は社会が苦手な科目であったのに、楽しく授業を受けることができた。二つ目は、高校三年の生物である。授業の章が終わるごとに関連の映像を見た。その映像を見ることで授業の内容に具体性が出て、理解がしやすくなった。

思い出に残っている授業

(日)小学校3年生 総合生活

クラスのみんなで協力して、一つのものを制作するという授業であった。わたしたちのクラスでは自分達で日常生活の係りを決めて活動した。私は郵便配達係だったので、決まった時間に職員室の隣にある、クラス別ボックスから郵便物を取りに行き、みんなに配っていた。また、ダンボールでお神輿を1から作成するという、自分達自身で考え行動する授業を行っていた。お神輿を制作する際には近くのスーパーなどからダンボールをもらい地域の方々と関わりながら行った。基本的に先生の手は借りずに、生徒自身で大きさや華やかさなどを考えながら制作していた。お神輿が完成すると校庭を使ってみんなでそのお神輿を担いだ。新学期が始まる前に、完成した作品などを解体して片付けた。準備から後片付けまでを自らが行っていたので、学校の授業で初めて大きな達成感を感じることができた授業だった。

(月)小学6年生 理科

椅子に座って授業を行うことよりも、実際に体験してもらう授業が多かったので校庭に出て植物の観察を行い、観察した植物の構造や成長の観察を行った。中学や高校と違い先生が同じなので、太陽の動きを観察するために、校庭に白い紙と鉛筆を置き、よく晴れた日に3時間おきに校庭に出て太陽の動きを観察していた。さらにメダカを一人ずつ育てていき、観察すると共に対照実験のようなものを行った。メダカは2Lのペットボトルで育てていたのでこまめな水替えが必要であった。生き物の育て方や適切な環境にするための必要性を習うことができた。

(火)高校3年生 聖書

学校がキリスト教の学校だったため聖書という授業があり、みんなで聖書を読み、讃美歌をパイプオルガンに合わせて歌っていた。また学校にチャペルがあったので、授業が始まる10分前にチャペルに行き礼拝をしていた。さらにキリスト教には、クリスマスやキリストの降臨祭などがあるため、それぞれのイベントごとに一時間の礼拝を行った。またイベントごとの歴史や歌を知ることができた。聖書には旧約聖書と新約聖書があったので、その旧約聖書と新約聖書の違いも勉強することができた。キリスト教の学校でしか習うことがない、聖書の授業は興味深く面白かった。

(水)高校2年生 コミュニケーション英語

英語表現のように教科書に沿った英文法を習うのではなく、実際に現地で使われている英語、英単語を勉強することができた。授業中にはグループワークやグループ関係なく、クラスの中を歩き回って友達同士で、習った英単語などで会話をしていた。友達と実際に使うことによって、身につくことが多いとともに、授業関係なく日常の会話でもたまに使うことができていたので、とてもためになった授業であった。グループワークのような友達と会話するだけではなく、映画や音楽にも触れ合っていた。先生も外国出身の方だったのでわからないことはすぐに聞くことができた。

(木)小学6年生 音楽

色々な楽器に触れるという分野の授業があった。学校に置いてある木琴やアコーディオンはもちろんのこと、琴や三味線のような日常生活で触れることも目に触れることもない楽器たちに触れることができた。実際に簡単な曲を練習することができたのでとてもいい経験になった。琴や三味線は同級生のお母さんが、演奏することができたので先生として学校に来てもらい授業を行っていた。この分野の最後の授業では、その方が演奏会などで実際に演奏している曲を聞かせてくれた。琴や三味線は本当に機会がないと経験することができないことなので良い思い出に残っている。

(金)中学1年生 数学

小学生まではマイナスが出てこなかったが、中学生になってマイナスが出てきたので、先生が分かりやすくする様に、黒板にマイナスのスライムとプラスのスライムを描いて、計算をしやすいようにしてくれた。当時は、スライムのおかげで計算がしやすかったので、躓くことがなかった。少し捻った難しい問題でもスラ

イムは使うことができた。先生も分かりやすく面白く説明してくれたので、今でも鮮明に記憶に残っている。

小・中学校の授業

1つ目は、小学校4年生の時に行なわれた図画工作の授業。当時国語の授業で取り扱った「ごんぎつね」という作品の好きな場面を、自分で想像して版画にしてみようというものだった。版画用の木材にペーパーで下書きをし、彫刻刀で彫り版画した。完成した作品は、生徒全員で鑑賞しクラスに展示した。私のクラスは約35人で先生が一人しかいなかったため、一人一人目を配らせる時間がなかったのか、彫刻刀でけがをする生徒が多かったことを覚えている。

2つ目は、中学3年生で行なった理科の授業。生き物の解剖を毎年ハマグリや新鮮な魚などを使って行なっていたらしいが、私達の代は煮干しをふやかして部位ごとに分類した。元々欠損している部位も多く体自体小さかったので、分類に苦戦し班ごとに個体差がでて、とても観察しにくかった。予算のせいなのか担当教諭のやり方だったのか、他校の生徒や過去の先輩は教科書通りの生物などを使っていて羨ましかったし、興味ある分野で楽しみにしていた分とても残念だった。

小学校から高校までに受けた思い出に残った授業

・小学五年生の道徳の授業→まだほとんどが方針を持たず、挫折を知らないような小学五年私たちが受けたとある道徳の授業では、担任の先生から数えきれないほどの「座右の銘」を教わった。授業の中で周り違った意見を発表するのを恐れていた私たちには「失敗はダイヤモンド」などの言葉がとても染みた。

・中学一年生の国語の授業→今でも一番尊敬している先生がした国語の授業だ。何が思い出に残っているのかは私が彼を尊敬している理由にも関係している。というのも、私は彼が何事にも精通していて、何事も経験しているのではないかと思わせるほどの人生談を持っているところに私は尊敬している。そんな彼が行った国語（古典）の授業は、とても面白い話と混ぜながら授業を進めていき、いやでも古典に興味を持ってしまふほどだった。

・中学二年生の総合の授業→体育館で行われ、警察官と違法ドラッグに手を染めてから立ち直ったという薬物"経験者"の方を招いての授業だった。違法ドラッグがどういうものなのかを知るためのビデオを視聴し、警察官と経験者から絶対に手を付けてはいけないと強く教えられた。特に私は経験者の話が印象に残っていて、やはり薬物の依存性や凶暴性に苦労した本人の口からきく話は何よりも説得力があった。

私の思い出に残る授業

私の特に思い出に残る小学校から高校までの授業は、5個ある。

まず一つ目は、小学一年生のころに行った朝顔の成長過程をまとめるというものである。これは名前の通りに朝顔の種を植えてからその成長過程を記録するといったものである。この授業によって、植物を育てる意識がわき、その他の生物も育成しようという気持ちの糧になった。

二つ目は小学5年生の頃の家庭科のミシンの実習の時の記憶である。この時の私は一切わからないことを他人に聞いても聞かず、結局最後まで終わることができず、居残りをする羽目になってしまった。この時にわからないことを他人に聞くという大切さを身をもって学んだのだ。

三つ目は中学一年生の数学の時間である。この時に私は人生の一番の衝撃を得るような人物と出会うこととなる。その子は人とコミュニケーションをとるのがとてもうまく、だれかと誰かの話の架け橋となれるような存在であった。その子はあまり勉強が得意ではなく、逆に私はそこそこ得意であったため、その後はその子と行動することが増えた。

四つ目は高校の頃の古典の授業である。この時の先生はとてもユーモアであり、とても古典の授業とは思

えないほどの騒がしさと面白さによって生徒たちからの絶大的な人気を誇っていた。そのおかげで私も全く興味がなかった私でさえもそこそこの成績を獲得することができた。

そして最後の五つ目は少しまた前の時代に戻ってしまうのだが、小学四年生の頃のパソコンの授業である。その時代の頃の先生があまりにもひどすぎてしまい、当時私が作った作文をうっかり消されてしまい問い詰めたところ、騒がしいからと私が居残りを宣言させられたのである。結局すぐに終わらせたのだが、理不尽を身をもって学んだ。

今まで受けた授業の中で印象的な授業

中学1年の理科の授業で、内容は有機物の燃焼実験だった。砂糖を熱し続けて焦げるまでの経過を観察するもので、一通りの実験が終わった後に先生がべっこう飴を作ってくれたのが印象的だった。授業中に飴が食べられる特別感のおかげか、この授業で言っていた有機物の燃焼のしくみを理解できた。

高校2年の数学の授業で、数学のテストの答案解説をしていた時に先生が問題を早く解くコツとして教科書に載っていない解き方、公式の覚え方など教えてくれたことが印象的だった。その印象的な問題の解き方のおかげで共通テストでは、時短に成功して解くことが出来た。

高校時代の思い出の授業

高校二年生の時、日本史の授業で歴史の人物の関係性を学校の先生の関係性に当てはめて説明されたことがあった。説明してもらいながら自分たちで考えて意見を出し合ったりしながら先生達の関係性に当てはめたりもしたので、その日の授業の内容をより深く理解することが出来た。また、当てはめた先生達が自分たちの学年に特に関わりが多かったこともあり、いつもよりも盛り上がり、楽しく授業を受けることができた。

小学校から高校までの思い出深い授業たち

小学校1～6年生 図工

絵を描くだけでなく、粘土や針金を使用して立体物を作成する。彫刻刀や鋸など小学校以前では使えなかったような道具を使用することができた。中でも彫刻刀を使用して木箱に自分の好きなように絵柄を彫り色を塗るという授業は一番思い出に残っている。いい出来のものができたから作成した箱は長い間使用していた。

2. 小学校5.6年生 家庭科

それまでは料理を手伝うことはしても自分で最初から作るというのはしたことがなかったので料理を作るのがこんなにも大変なのか、と驚いた覚えがある。料理に関する知恵を知ることができ今でも活かされている。

3. 中学校1～3年 技術

1.2年生で木の筆筒、3年生で災害用ラジオを作成した。筆筒は採寸、切断、組み立てなど全工程を自分で行ったので完成品に一人一人違った不備が生じたが、不備の原因を調べる楽しさや不備が味となって愛着を持ち長い間使用した。ラジオでは今後使用することのないようなはんだごてなどを使った。

4. 高校2年生 世界史

授業自体は教科書に沿って進めていくよくある授業だったが、担当の先生が海外旅行と写真が趣味の方で、授業で出てきた国について写真付きで説明してくれた他その土地の歴史についても話してくれたのでプチ旅行気分を味わうことができた。

思い出深い授業について

中学校2年 社会科 史跡巡り

この授業は、地元について理解を深めることが目的である。

具体的には、各班ごとに学区内の石碑や寺社仏閣といった史跡を一日かけて自分達の足で巡るイベントとなっている。

何も無い田舎だと思っていた地元の土地でも、調べてみると数多くの史跡があり、実際に現地に赴くことで確かにここで歴史が紡がれていたことを肌で感じ、気分が高揚したことを今でも覚えている。同時に地元に対して誇らしい気持ちが生まれたため思い出に残る授業だった。

思い出に残る授業の紹介

・小学校4年生 「LIFE」（世間一般で言う総合的な学習の時間のことで、戦争や軍事問題などについて詳しく考える授業）

学年で世の中で話題になっているテーマの一つ議題として決定しディベートを行う授業。私が行ったディベートの議題は「沖縄県の普天間基地移設問題」であった。当時、オスプレイの導入に関して不時着や民間住宅への墜落が注目されていたこともありこの議題になった。普天間基地移設は「賛成」か「反対」か自分の意見と立場を決定し、限られた時間の中で自分たちで議題の詳しい内容や問題を調べ、グループ内でまとめ、討論するための内容を練り、自分たちと異なる意見を持つグループとディベートを行った。どちらが正しいかを決定するのではなく、相手の主張に疑問を持ち、意見交換することや逆の主張の立場となって考え直すのを目的とした授業であった。小学生の力だけで議題の決定やディベート内容、情報の収集の作業を行ったことへの達成感と、世の中の出来事に関心を持つきっかけになったことから印象に残っている。（380文字）

・中学校1年生から3年生 「技術」

中学校で一般的に習う「技術」の科目であるが、私が通学していた中学校では材料加工、エネルギー変換、生物育生、情報に関する技術習得の他に、プログラミング教育が2021年に必修化する以前の当時（2014年～2016年）はとても珍しかった「プログラミング」の分野があった授業。生徒が作成したプログラミングしたロボットをシステム内（ゲーム形式）で戦わせ自分が想定した理想の動きが出来ているのか、出来ないのかを考え、そこから得た改善策を踏まえた新しいプログラミングしたロボットを作成する。生徒が予想した動きと結果から改善を行い、パソコンやプログラミングを見時間に感じてもらうのを目的とした分野の授業であった。パソコンを使って自分なりに考えた行動プログラムを入力したロボットが動く様子が大変面白かったのと、自分が手を加えたものが動くという事に感動したため印象に残っている。（382文字）

・中学校1年生から3年生 「総合的な学習の時間」

自分が興味を持つ職業・職種を考え、職業の特徴や条件を調べ、体験可能な職場を探しアポイントメントを取ったり、直接対面して話し合いを行い職場体験をするカリキュラムがある授業。1週間程度職場の体験をした後、グループや自分なりに職場体験の感想や感じたこと、将来にどう生かすのかといったことをまとめ学校で保護者の授業参観日に発表を行う。また、「総合的な学習の時間」の中で相手の良いところを専用紙や相手に直接伝える「アワード活動」の時間を設けた授業である。自分が体験する「職場体験」をゼロから取り組み、企業の人と交流すること、また自分が感じた事を全体に発表する事に責任感と緊張感があったため印象に深く残っている。また、「アワード活動」に関しては他校にはない私が通学している中学校独自の取り組みであったため母校の特徴として印象に残っている。（364文字）

思い出の授業

私の思い出に残る授業は高校2年の数学の授業である。その授業の担当教員は、とてもスピード感のある分

かりやすい授業を展開していた。公式の説明と例題の後、問題を解く時間を決めて、それが終わったら解説に移る授業スタイルだった。そのスピード感についていけない人も一定数いたが、理解できなかったところは放課後に解説を行ってくれた。一般入試に向けて実践的な授業をしてくれていたことがとても印象に残っている。

思い出に残っている授業について

・小学1年 生活

入学してすぐに自己紹介の紙を書いて全先生に紙を渡しに行き名前と顔を覚えてもらうことを目標とした授業をした。初めての人と話すのが苦手だったためとても苦労したがこの目標をクリアした時はとても達成感があったのをよく覚えている。

・小学1年 体育

縄跳び大会があり、そこで良い結果を出すためにクラスみんなで長縄を練習したことを覚えている。その練習で初めて仲間と協力することが楽しいとを知ることができたと思う。そして練習した結果をちゃんと出すことができ努力することが大事なのだと幼いながらに思ったことを覚えている。

・小学3年 図工

学校で飼っていた烏骨鶏の絵を描く授業で自分がクラスの代表として絵が選ばれてその絵がオーストラリアに展示されたと聞いたときは嬉しかったし驚いた。絵が苦手な苦戦しながら描いたものだったのでとても思い出に残っている。

・小学4年 体育

鉄棒の授業でずっと逆上がりができなくて先生が毎回私のところに来てくれて逆上がりするコツを丁寧に教えてくれたり実践してくれたり補助してもらったおかげで1人でも逆上がりをすることができるようになった。できるようになった時は先生も私と同じくらい喜んでいたので覚えている。

・小学5年 体育

この年に長野県に引っ越すことになって冬の体育の授業で日帰り丸2日スキーの授業があったのは驚いた。そのスキーの授業は毎年行っているらしくクラスメイトのみんなはとても上手くてついていけなかったので講師の先生に1から教えてもらっていた。初めてスキーをしたということもありとても思い出に残っている。

・中学1年 社会

地元をよく知るための授業の一環として地元で有名な梨の収穫から出荷までの体験をした。梨が有名なのは知っていたがどのように収穫するか、出荷するときに1個1個人が目を通して確認していることは知らなかった。この授業を通して農園の人たちの苦労を少しだが知ることができた。

・中学2年 道徳

保育園に職場体験に行った。私には8個下の弟がいて慣れているので簡単だろうと思っていたが2歳の子だったというのにもあってなかなか寝てくれなかったり子供たちが怪我をしないようにずっと気を配っていたりと保育士の大変さを思い知った3日間だった。とても貴重な体験になり充実していたので思い出に残っている。

・高校1年 家庭科

自分で絵本を書いてそれを実際に子供たちに読み聞かせるという授業があった。絵本を白紙から作るなんて初めだったのでとても苦労した。他にも子供に読み聞かせるために工夫を自分なりに考えたりするのも大変だったが子供たちが喜んでくれているのを見てとても嬉しかったのでよく覚えている。

・高校2年 道徳

高校の卒業生の話を聞くという授業でクラスに来る人は様々だが私のクラスには元宝塚の方が講師として話

をしてくれた。話の内容はとても興味深く、進路を決める時期に話を聞けたのでとてもタメになり進学する手助けになったので今でも思い出に残っている。

思い出に残る授業について

私の思い出に残っている授業は中学1～3年に受けた美術の授業である。

その授業では、文字のみの板書や言葉だけの説明だと分かりづらい美術の歴史や遠近法などの絵画の技法について、豊富な図と興味深い話題を挟んで説明されることで退屈だと感じることなく楽しみながら理解することができた。

また、授業内でレタリングや版画、有名な絵画の模写、水彩画など様々な美術に挑戦することができ、どう絵の具を混ぜれば見ている絵と同じ色が再現出来るか、空はどのように描けば本物のように見えるのかといった実際に手を動かさないと分からないことを知ることができた。美術の技術や表現方法に関して、自分で考えるだけでは解決できないときには先生が親身に相談に乗ってくれたので、あまり絵を描くのが得意ではない私でも諦めずに取り組めて納得できる絵を描くことができた。

思い出に残る授業

・小学校4年「家庭科」

この授業の内容は調理実習であった。現在では毎日やっているが、この授業を受けるまで炊飯や料理をしたことが一度もなかった。ノートを何度も見返し、水の分量などを細かく測った。授業の課題として家でも行った。初めてのことで時間もかかったが美味しくできたことを今でも覚えている。

・中学校2年「社会」

この授業の内容は第二次世界大戦についてのビデオ鑑賞であった。ビデオでは第二次世界大戦時の映像や使用されていた戦闘機や銃火器など様々なことを紹介していた。第二次世界大戦時の映像を観た後あまりの悲惨さに体調を悪くしたものもいた。その時の映像は今でも私の脳裏に残っている。

・高校1年「体育」

私の通っていた高校では、年に一度男子は30km、女子は22kmを走る長距離大会というものがある。この授業の内容は外周走でその練習として行われた。走っている最中は私語禁止、他人との並走禁止などの禁止事項があった。しかし、友人は気にせず話しかけてきた。その様子を見た先生は友人ではなく、話しかけられた私だけを怒った。その説教は一時間を超えた。あまりの理不尽さに今でも記憶に残っている。

・高校3年「情報」

この授業の内容は動画編集ソフトについてであった。自分のお気に入りの曲に合わせて画像や映像を貼るなど動画の編集を実際に取り組んだ。動画編集ソフトは普段使用したことがなかったのでとても良い体験であったと記憶に残っている。隣の席にいた友人の作った動画は作りが良く、その世界観に入りこんだようだった。その動画は次年度の入学式にも使用された。

小学校から高校までの間で思い出に残る授業について

小学校において思い出に残っているのは体育の授業です。学年は六年生でした。小学校の時、普段は体を動かすことが少なく座っての授業が多い中、唯一運動を行える科目であったということが主な理由です。私自身も体を動かすことが好きであったということもあり、印象に残っています。また、体育の後に行う授業の集中力が大幅に向上したことなどの利点もありました。

中学校において印象深かった授業は、生物です。学年は二年生でした。理由としては、自然生態系に存在する動植物に対しての関心を高めてくれたことが挙げられます。日々の授業を通して、生物の進化の過程や遺伝的な内容、多様な動植物に関する種類や名称などについて学習することの楽しさを実感しました。また、

生物の授業は自分自身の進路選択にも大きな影響を与えてくれました。

義務教育での思い出のある授業

私が小学校で思い出に残る授業は、体育の縄跳び大会だ。自分は元々縄跳びが得意ではなかったので、体育の時間だけでなく、家でもたくさんの練習をした結果、大会で1位を取ることができた。初めて自分で努力して手に入れたものなので、とても思い出に残っている授業だ。

私が中学校で思い出に残る授業は、音楽の文化祭だ。クラス全員で1つの目標に向かって放課後も集まって練習したのはとてもいい思い出だった。

私の思い出の授業

小学2年生 国語

「さがが大きくなるまで」という教材でサケについて勉強した。そこで、私の学校ではサケの卵から稚魚になるまで育て川に放流するというところを行った。教科書だけでは分からない卵や孵化した後の様子を観察することができた。教科書の内容が進んでいくと共にサケの成長が見られるのはとても関心深かった。

小学1、2年生 音楽

1、2年生までは担任の先生に音楽を教わった。先生オリジナルの楽曲に合わせクラス全員でスキップをしたりして体を動かしながら音楽に触れた。真面目に教科書の歌や演奏をするよりも断然楽しかった。

中学2年 体育

バレーボールを行った。クラス単位で試合が行われ、私はメンバーをどの順に入れるか考える役目が合った。クラスの中には運動が得意な人苦手な人様々な人がいる。それでもみんなが楽しくバレーボールができるように考えた。結果みんなが楽しくバレーボールを行うことができたので良かった。

中学2年生 英語

「一休さんの」をすべて英語で発表した。内容はすべて暗記で4人一組になり練習を重ねた。英語が苦手な私でもグループワークで英語を話すのは楽しかった。

また、毎回の授業に洋楽を歌ったり、単語のビンゴを行ったりして英語への関心が高まった。

中学1、2、3年 体育

中学の体育は小学校とは違い集団行動に厳しい指導を受けた。例えば、「前ならへ」だったら前の人の耳まで手を上げピシッとするように指導された。そして、体操の体型に広がる時は走って広がり即座に前ならへをし整列をした。当時はあまり楽しいとは思わなかったが、集団行動をよく学べた授業だと思った。

高校1年 数学

数学の担当の先生は数学を教えるのがとても上手でまるで予備校に通っているかのようだった。実際その先生は塾講師でもあり、数学だけでなく様々な豆知識などを教えてくれた。数学に興味を持てたのはもちろん時事問題も勉強できる有意義な授業だった。

思い出に残っている授業

思い出に残っている授業の1つ目は、小学校6年生の時にあった歴史。歴史の授業では、過去に起きた事象を学び、自分が生まれる前の知らない過去のことを知ることができ、知識が徐々に増えていくので面白かった。クラスの全員で新聞紙を集め、その新聞紙に絵を描いたり、切ったりして東大寺の大仏を実寸大の大きさと平面図を体育館に作ったことも記憶に残っています。

2つ目は、小学校の1～6年までであった図画工作。図画工作での造形活動は、何時間も掛けて一つの作品を作り上げることがあり、困難もあったが達成感があって良かった。図画工作の作品には人それぞれの表現や特徴が表われ、鑑賞も楽しかった。図画工作で作った作品は、保存方法が悪くなければ、形に残るものなの

で記憶にも残りやすいものだと感じた。

3つ目は、高校3年の時に工業実習の授業の一環としてあったインターンシップ。実際の仕事場に3日間通いました。私がインターンシップで行った会社は建設会社で、当時建設していた下水道の整備をするポンプ場の工事現場を観察することが出来ました。工事の最中だったので何かを体験することはありませんでしたが、建物ができるまでの過程の一部を見られてよかった。

小学生時代の授業

私が小学生から高校までの間で思い出に残っている授業は、小学生3年の時に行った微生物の観察である。それまで顕微鏡に馴染みがなかったが、初めて見る微生物は非常に興味が湧いた。またミドリムシやハネケイソウなど当時聞いたことのない生き物を多く知ることができた。微生物の観察はとても面白かったため思い出に残っている。

思い出に残っている授業

私が今まで思い出に残っている授業は高校3年の頃に生物の授業で行った豚の目玉の解剖だ。目の構造は教科書などを使って事前に勉強をしていたため、理解していたが人間の目に近いといわれている豚の目を解剖したことで更に理解が深まった。また、最近の実験で解剖を行うことが増えたためあの時の経験が役に立ったと思う。

思い出に残る授業

高校2年生の世界史の授業で、各宗教の成り立ちや始まりの時期を学ぶ授業がとても思い出に残っている。その授業でユダヤ教やキリスト教、イスラム教は全て元の神が一緒だということを学び、宗教戦争が起こる理由は神が違うからだと思っていた私は衝撃を受けた。

記憶に残っている授業

中学2年生の英語の授業は悪い方で記憶に残っている。担当の先生が怖く授業の雰囲気も重かった。また自分を含め怒られることが多かった。具体例としてリスニングを行ったときに聞き取れない箇所があった場合や、授業で当てられて回答できなかった場合は大抵怒られた。またテストで低い点数を取った場合も怒られたりした。そのため怒られたくない、怒られないようにしないとという気持ちで授業を受けていた。その結果元々苦手意識がありそこまで好きではなかった英語が授業の影響もあると思うが嫌いになった。

中学3年生の理科の授業は良い方で記憶に残っている。授業の流れとして、先生が授業をしてその後問題を出す。問題を解き、解けたら先生の所に行き回答する。正解していたらまだ終わっていない人で困っている人の所に行き、教える。全員が正解したら先生が解説するという流れだった。この授業のルールとして教える際は絶対に答えを言わない、教えられた人はなぜこの回答になるのかを教えてもらった人に説明するというものがあった。この授業は友達と相談したり教え合ったりして楽しかったので記憶に残っている。

最も実りのある授業

高校3年生の時に自分は理系を選択していたので、文系の範囲の授業は取ることが出来なかった。しかし、歴史については自分が興味を持っていたこともあり、授業を受けたいと思っていたが、時間割の影響で取ることが出来なかった。しかし、2年生の頃に歴史の担当だった先生が自分のことを気にかけてくれ、空いている時間に一对一で授業をして貰えた。興味のある範囲だけを好きなだけ質問できたので、とても充実した時間だった。

思い出に残る授業

先生が授業の合間にその時の内容に関連する面白い小話や豆知識を話してくれる授業はとても良いと思った。私が中学生のころの社会科の先生は本当に歴史が好きなお方だったので、歴史の人物の面白エピソードなどの話をしてくれた。そういった印象的な話をしてくれるだけでその人物の名前や事柄が覚えやすくなるものだと思う。もちろんその話も面白いし、楽しそうに話している先生を見ると、こっちまで楽しくなった。

小学校から高校まで私の思い出に残った授業

小学校

2年 総合

身近な大人へ職業インタビューを行う授業があった。私はよくお世話になっていた歯医者さんにお話を伺い、その仕事で気をつけていることや仕事内容について話してもらった。とても優しく答えて頂いたことをよく覚えている。両親や先生以外の大人と話す機会となったのも今考えるととても良かったと思う。

6年 体育

ソフトボール投げの練習をしていた際、先生に投げる時の正しいフォームや力の抜き方をアドバイスしてもらい飛距離を伸ばすことが出来た。やり方を変えたことで明確に自分の能力が上がったことを実感できたことがとても嬉しかった。体力測定ではただ測定して終わりということが多かったので、記録を伸ばす方法を教えてもらえる時間があったのが良かった。

中学校

2年 音楽

日本の伝統の楽器に触れるという授業で琴を弾かせてもらった。外部から来ていただいた先生に直接弾き方を教えてもらい、授業の最後には先生がたの生の演奏を聞かせてもらった。もともと音楽が好きで吹奏楽部にいたが、この授業でさらに自分の興味の幅が広がっていったと感じている。

高校

3年 国語

授業で取り扱った物語に登場する人物を、自分の中のイメージで絵に描いてみるという課題があった。絵を描くことが好きだったため、気合いをいれて描いたものが先生によく褒められたことが嬉しかった。

小学校から高校までの授業で思い出に残る授業

学年:中学校2年生 科目:家庭科

家庭科の授業は、裁縫や調理実習などをおこなう授業です。私は、その中でも調理実習が思い出に残っています。私の中学校は漁業が盛んな町なので、調理実習ではホッケや鮭を捌かせてくれたり出来たので思い出に残っています。

学年:高校3年生 科目:造形

造形の授業は、好きな漫画のシーンや写真を模写、お皿を作るなど、作品をつくるような授業です。私は、その中でもお皿作りが思い出に残っています。私の高校には、電気釜があったため、粘土でお皿を作って焼くという本格的なことを授業で出来たのでとても思い出に残っています。

思い出の授業について

小学校の時の思い出では、6年生の時に行った家庭科の調理実習があります。家庭科の授業で、スクランブルエッグを作ることになったのですが、フライパンに卵を入れて、調理をしてる時に、周りの友達と話に夢中になって、気づいたら、スクランブルエッグが黒焦げになったことが、思い出に残っています。

中学校の思い出では、1.2.3年の夏に体育で行われた1500m走があります。この授業では、1500m走るだけではなく、去年先輩たちが1500m走った総合のタイムがあり、そのタイムより早く完走しなければいくまで終わらないというものでした。去年の先輩たちは、運動神経のいいひとが多く、タイムを抜くまでに、10回以上走り、きつかった思い出があります。

高校の思い出では、3年に行われた卒業webデザインがあります。この授業では、1. 2年で学んだことを活かし、自分たちのオリジナルのウェブサイトを作成します。この時に、1. 2年の時に学んだ知識や友達とのアイデアの提案や評価をしてもらい、自分なりのウェブサイトを作成した思い出があります。

高校での実習授業の経験について

私の高校では、農業高校のために、他の普通学科の高校とは違い実習系の授業が数多く存在していました。今となっては、それらの実習の経験はとても良い思い出に残る授業となりました。良い思い出となった何よりの理由としては、私自身が大学生になり、色々な場面にて高校での実習の経験がとても活きていると感じるからです。実際に、大学での実験や実習では、今までやってきたことの応用であったりすることもあるので、とてもスムーズに動ける部分が多いです。また、大学外にても大いに役だっていると感じるのは、農家やホタテの様なバイトで活きていると思っています。高校での実習では、作業の内容などによってもではありますが、人によって得意不得意があります。それにより、雰囲気が悪くなったりとありましたがその経験こそが、今の農家バイトなどで、あまり動けない人がいても理解しようと思えるため、高校での実習が良い思い出だと今では感じています。